

平成14年1月28日

各 位

会社名 旭硝子株式会社
コード番号 5201
問合せ先 広報室長 井本健一
TEL: 03-3218-5408

業績予想（連結・単独）の修正に関するお知らせ

厳しい事業環境に対応し、退職優遇制度の拡充を含む事業構造改革施策の追加実施を決定したことに伴い、平成13年度（平成13年4月1日～平成14年3月31日）の業績予想について、平成13年11月20日の中間決算発表時に公表しました業績予想を下記の通り修正しますのでお知らせします。

記

1. 14年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成13年11月20日発表）	1,260,000	62,000	44,000	10,000
今回修正予想（B）	1,260,000	57,000	37,000	9,000
増減額（B - A）	0	5,000	7,000	19,000
増減率	-	8.1%	15.9%	-
前期（平成13年3月期実績）	1,312,829	111,652	98,026	24,724

2. 14年3月期通期単独業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成13年11月20日発表）	550,000	3,500	6,000	3,000
今回修正予想（B）	550,000	6,000	3,000	18,000
増減額（B - A）	0	2,500	3,000	15,000
増減率	-	-	50.0%	-
前期（平成13年3月期実績）	604,629	20,989	33,690	11,703

3. 連結業績修正の理由

売上高については、前回予想並となる見込みです。

営業利益については、化学品のクロル・アルカリ事業の利益減少が予想されること等から、前回予想より50億円減益の570億円を予想しています。

当社では、厳しい事業環境に対応し、収益力向上を目的として、CRT用ガラス事業及び化学品事業において、構造改革施策の追加実施を決定しました。これに伴い、特別損益が410億円の損失となり、当期利益は前回予想より190億円減益の90億円となる見込みです。

特別損益 410億円のうち、構造改革施策に伴い発生する構造改善費用380億円の主なものは下記の通りです。

- (1) 船橋工場 CRT 用ガラス事業撤退に伴う固定資産除却損・解体撤去費等 170億円
- (2) 化学品事業等人員削減施策に伴う優遇退職金 60億円
- (3) 北九州工場化学品事業撤退に伴う固定資産除却損・解体撤去費等 80億円
- (4) 窯業系外装建材事業の集約に伴う固定資産除却損・解体撤去費等 20億円
- (5) セラミックス事業分社化に伴う固定資産除却損・解体撤去費等 15億円
- (6) その他構造改善費用 35億円

4. 単独業績修正の理由

売上高については、中間決算発表時予想を達成できる見込みですが、営業利益については、日本経済の厳しい環境により、前回予想より25億円減の60億円となる見込みです。

なお、構造改革施策は主に単独で実施されることから、構造改善費用等の特別損失が追加で発生し、当期利益については前回予想より150億円減益の180億円となる見込みです。

以上

(補足資料)

事業セグメント別業績見込み(連結)

(単位：億円)

事業セグメント	売上			営業利益		
	上期	下期	年計	上期	下期	年計
ガラス	3,338	3,362	6,700	217	173	390
電子・ディスプレイ	1,759	1,291	3,050	218	12	230
化学	1,304	1,346	2,650	4	64	60
その他	444	456	900	6	4	10
消去	386	314	700	1	-	-
合計	6,458	6,142	12,600	443	127	570